



渋谷瑛一消防士が全国の舞台へ

8月25日に札幌市にて行われた第5回全国消防救助技術大会にロープブリッジ渡過北海道代表として渋谷瑛一消防士(23)が出場しました。渋谷消防士はこの競技を始めて5年目になりますが、新型コロナウイルスの影響で全国大会の予選となる北海道大会も開催ができず今回の予選は2回目の出場でした。そんな中挑んだ北海道大会は5年間の訓練成果を遺憾なく発揮し、北海道1位という成績で全国出場を決めました。全国大会でも北海道の代表という大きなプレッシャーのなか減点なしというすばらしい結果を残し表彰を受けました。



渋谷消防士は大会を終えて「緊張もあり自己ベストが更新できず、悔しさが残ったが、全国の職員と競えたのはとても良い経験になった」と語ってくれました。

秋の火災予防運動について

10月15日から10月31日まで全道一斉に秋の火災予防運動を実施します。

これからの季節は、暖房器具の使用に伴い火災が発生しやすくなります。使用する前には点検を行いましょう。

令和4年中に全国で発生した火災件数は36,375件にのぼり、これはおおよそ1日あたり100件、14分に1件の火災が発生したことになります。火災の原因は「たばこ」「たき火」「こんろ」「放火」などが原因で失火によるものが多くなっています。

また、火災による死者のうち922人が住宅火災で亡くなっており、そのうち7割以上が65歳以上の高齢者で、逃げ遅れによるものが大半です。

就寝中の火災や台所での火災を早期に発見し被害を最小限に抑えるため、住宅用火災警報器を設置しましょう。既に設置されているご家庭は電池の確認など維持管理に努めましょう。

なお、秋の火災予防運動期間中、消防職員及び消防団員が村内の一般住宅や農家等の防火査察に伺うことがありますのでご理解とご協力をお願いします。

何かご不明な点がありましたら鶴居消防署 予防広報係(Tel 64-2344)までご連絡ください。



(令和5年度 秋の火災予防運動 全国統一標語)

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

火事・救急・救助は119番

釧路北部消防事務組合鶴居消防署